

## <対策のポイント>

A M I S（農業市場情報システム）が果たしてきた役割と成果を評価するとともに、今後の検討課題として世界の食料生産、需給等に関する懸念材料への対応を検討。

COVID-19の蔓延に加え、ロシアによるウクライナ侵略により、食料サプライチェーンが深刻な影響を受けたことを踏まえ、緊急時における情報収集を強化。

## <政策目標>

○ A M I Sの目的である世界の食料安全保障確保のための農業市場の透明性向上における課題が明らかとなり、A M I Sの機能が改善・強化され、我が国の食料安全保障の向上にも寄与

## <事業の内容>

### 1. 食料安全保障懸念要因調査

○ 食料価格の乱高下の要因となり得る事例の収集及び分析。

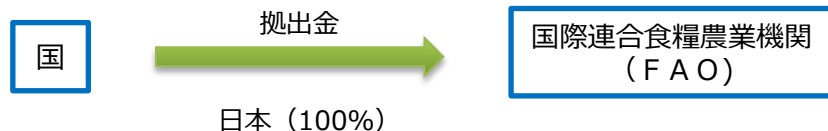
### 2. 食料安全保障に係る危機管理検討

○ 抽出された懸念要因に対して、食料価格の乱高下、特に輸出国・輸入国への影響度合いの分析及び状況把握のための調査項目・調査方法の検討。

### 3. 非G20メンバー国を含む各国のCOVID-19等影響調査

○ COVID-19の蔓延等、危機的状況における必要な情報収集と迅速な共有を実施。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 穀物等の価格の変動要因

異常  
気象

バイオ  
燃料  
増加

畜産物  
需要増  
等

### 突発的要因

海上・陸上  
輸送に  
おけるリスク

COVID-19や  
ロシアの  
ウクライナ侵略  
等による影響

その他  
の要因

影響緩和・回避

### A M I Sによる対応

- ① 市場情報の質・分析・見通し改善
- ② 危機の際の対話・対応・政策協調
- ③ 途上国の能力開発

### A M I Sによる追加的な対応

- ① COVID-19やロシアのウクライナ侵略等、突発的要因の調査
- ② サプライチェーンへの影響把握
- ③ 非G20メンバー国との連携
- ④ 肥料・植物油市場の監視強化

【お問い合わせ先】

- (1) 輸出・国際局新興地域グループ
- (2) 輸出・国際局国際戦略グループ

(03-3502-5913)  
(03-6744-1501)